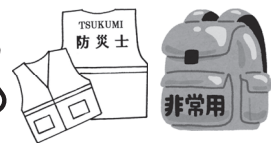


ある防災士のひとごと



平成29年の自然災害の発生を振り返ります。※警報以上の発表

日時	災害種別	避難情報・気象情報の発表種類
1月20日 10時20分		暴風警報発令
15時25分		暴風雪警報発令
3月 2日 23時53分	津久見市震度3の地震	日向灘震源M5.3
6月20日 23時27分	津久見市震度4の地震	豊後水道震源M5の地震佐伯震度5強
7月 4日 4時21分	台風第3号	暴風警報発令
10時27分		大雨・洪水警報発令
7月 5日 15時42分	平成29年7月九州北部豪雨	大雨・洪水警報発令
19時55分		大分県大雨特別警報発令
8月 6日 13時49分	台風第5号	暴風警報発令
17時00分		避難準備・高齢者等避難開始発令(市内全域)
9月16日 16時00分	台風第18号	避難準備・高齢者等避難開始発令(市内全域)
22時27分		暴風警報発令
9月17日 8時25分		大雨警報発令
9時50分		避難勧告発令(市内全域)・土砂災害警戒情報発令
10時57分		洪水警報発令
13時50分		避難指示(緊急)発令(岩屋・宮本・大友・徳浦)
14時15分		避難指示(緊急)発令(市内全域)
14時37分		記録的短時間大雨情報120ミリ
15時47分	記録的短時間大雨情報110ミリ	
10月21日 16時00分	台風第21号	避難準備・高齢者等避難開始発令(市内全域)
10月22日 6時43分		暴風警報発令
10時55分		大雨警報発令
10月29日 1時20分	台風第22号	暴風警報発令

平成29年津久見市に何らかの影響を及ぼした自然災害の発生とそれに伴う気象情報を調べてみました。2回の地震と津久見市に影響を及ぼした5つの台風。地震での被害はありませんでしたが、あの台風はすさまじいものがありました。やはり自然は恐ろしいですね。台風第18号がそのような甚大な被害の爪痕を残すとは、ほとんどの市民が「まさかこの津久見市で」と口をそろえて言います。でもこれが自然の驚異ですよ。地震にしても風水害にしても現代科学をもってしても、いつ、どこで起こるか予測は不可能だそうで、日本において安全な場所はないそうです。だから、日本中どこにでも発生する自然災害が津久見市で起きたということは、起こって当たり前のことなのでしょうね。いずれの災害の防衛にもいくつもの共通したものがあります。特に、命に直結する事前準備と行政から出される避難情報。避難にあっては人的被害が発生してからでは遅く、早め早めの避難を心掛けましょう。そして、避難情報解除時には「何事もねえでよかったの～」を合言葉に、避難所を閉鎖できるようになるといいと思います。みなさんは、災害がいつかは起こると知っていますが、生活が優先して備えがおろそかになりがちです。台風第18号を経験し、「風水害・南海トラフ地震等のいつ、どこで起こるか予測不可能な災害に備える」ということを肝に銘じ、多発する自然災害から自分と家族を守る唯一の方法として「事前準備を怠りなくやっておくこと」が大切だと思います。

●問い合わせ先 / 総務課 行政・防災・財務班 ☎82-4111(内線242)